

岐阜市の一体的実施

平成24年4月2日事業開始

市とハローワークが連携して、市役所福祉事務所生活福祉課内のはたらき支援ルームにて職業紹介等を実施。

市

市役所庁舎内の提供

① 事業内容

- ・就職支援ナビゲーターより、市役所福祉事務所生活福祉課内のはたらき支援ルームで生活困窮者に対して求人情報の提供、職業相談や職業紹介を実施

② 協定・事業計画

- ・岐阜市長と岐阜労働局長の間で協定(*)を締結
- ・数値目標を盛り込んだ事業計画を岐阜市と岐阜労働局の間で策定

* 協定の実施等について相互に要望することができ、出された要望には誠実に対応する旨を規定。



国

職業紹介・職業相談の実施等

この協定の締結により、生活困窮者の早期就職に向けた就労支援の強化・充実が図られ、自立への支援の一層の強化と利便性向上を実施。

(1) 実施体制

岐阜市

- ・ 面接相談員、就労支援員、キャリアカウンセラー、ケースワーカーを配置

国(ハローワーク岐阜)

- ・ 就職支援ナビゲーター2名を配置
- ・ 求人情報提供用のパソコン1台を配置

(2) 事業目標と取組状況(7年度)

事業内容	事業目標(年度)	取組状況 (令和8年2月末時点)
生活困窮者に対して求人情報の提供、職業相談、職業紹介等の実施	利用者数 2,000名 支援対象者数 180名 就職者数 231名 就職率 41.3% (参考)前年度目標 ・利用者数 2,000名 ・支援対象者数 180名 ・就職者数 258名 ・就職率 36.7%	利用者数 1,503名 支援対象者数 133名 就職者数 234名 就職率 27.1% (参考)前年同月実績 ・利用者数 1,153名 ・支援対象者数 125名 ・就職者数 217名 ・就職率 23.2%

一体的実施事業（岐阜市）による就職成功例

男性：30代 ・ 希望職種：軽作業

① 求職者の課題

・R3年9月に新型コロナウイルスに感染。その後半身の麻痺や強い倦怠感が残り、総合病院を含め複数の医療機関を受診したが明確な治療方法を得られず、体調が回復しないため生保受給に至る。

② 紹介の経過

・大学病院や市民病院なども受診したが、上述の通り治療方法や薬などが見付からず、コンビニ店員として就労していたが休みがちになり、また、右手に力が入らず箸を落としたり、ひどい倦怠感が続くなど、本人には明確な自覚症状があるものの、上司など他人には説明しても理解されず、結果退職せざるを得なくなりました。そんな経緯もあり他人と係わることが嫌になってしまった。また体調面の不安や体力の低下もあることから、そんな状態でも出来そうな職種を提案しながら、本人の思いをとにかく傾聴することで、もう一度働いてみようと思えるような就労意欲向上支援を継続していった。

③ 結果

・紹介就職 パート マンション清掃

④ 職業相談員の所感

・報道番組等で新型コロナウイルス感染症の後遺症に苦しむ患者の話を観たことはあったが、実際目の当たりにすると、本人の苦しみをそのまま理解するより、どうしても大げさに言っているのではないか、他に何か原因があるのではないかなど、経験したことがない他人には理解を得難いことを実感した。現在も2ヶ月に1度通院し、色々な種類の治療薬を試行しながら4年以上治療を続けている本人は、体調のことはもとより精神的にもかなり疲弊していた。しかしそんな数年続いた状態から今の自分にも出来る仕事を見付け、社会復帰の第一歩を踏み出せたことを本人が一番喜んでいたのでとても印象に残る事例でした。

⑤ 本人のコメント

・「面接で自分の事情を説明し、それを受け入れ働きやすいように配慮して下さい。事業所担当者に感謝し一生懸命頑張ります」と報告に来所。